

第3弾  
アーチェリー!



ロンドンオリンピックでメダルを獲得するなど注目されている  
アーチェリー競技! 島根県の高校生も頑張っています!

今回はアーチェリー競技に注目したいと思います。

アーチェリー競技って…!?

シンプルに

弓を引き、的を狙い、弦をはなす  
そして矢の当たったところで点数が決まる!  
という競技です。



矢のスピードはだいたい時速200~230km  
くらいで、その衝撃は厚さ5mmの  
鉄板を打ち抜くほどです。

大会では1エンド6射×6エンド  
を2回 合計72射の得点で競います。  
1エンド4分以内に6射うちます。

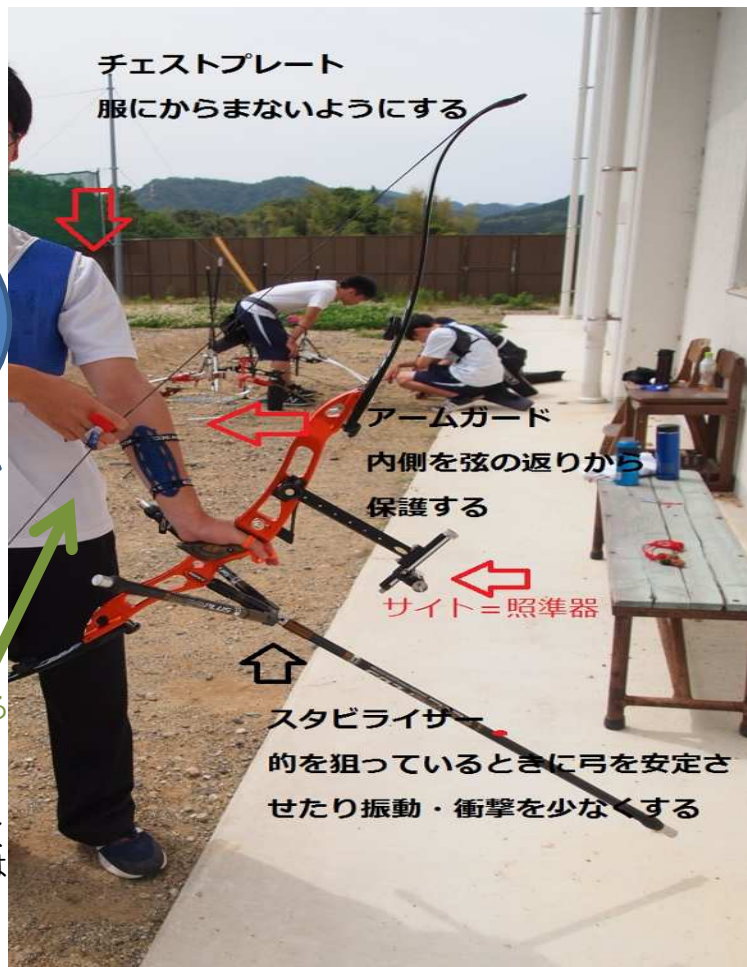
団体戦では4名1チームで得点の高い上位3名の合計得点で競います。

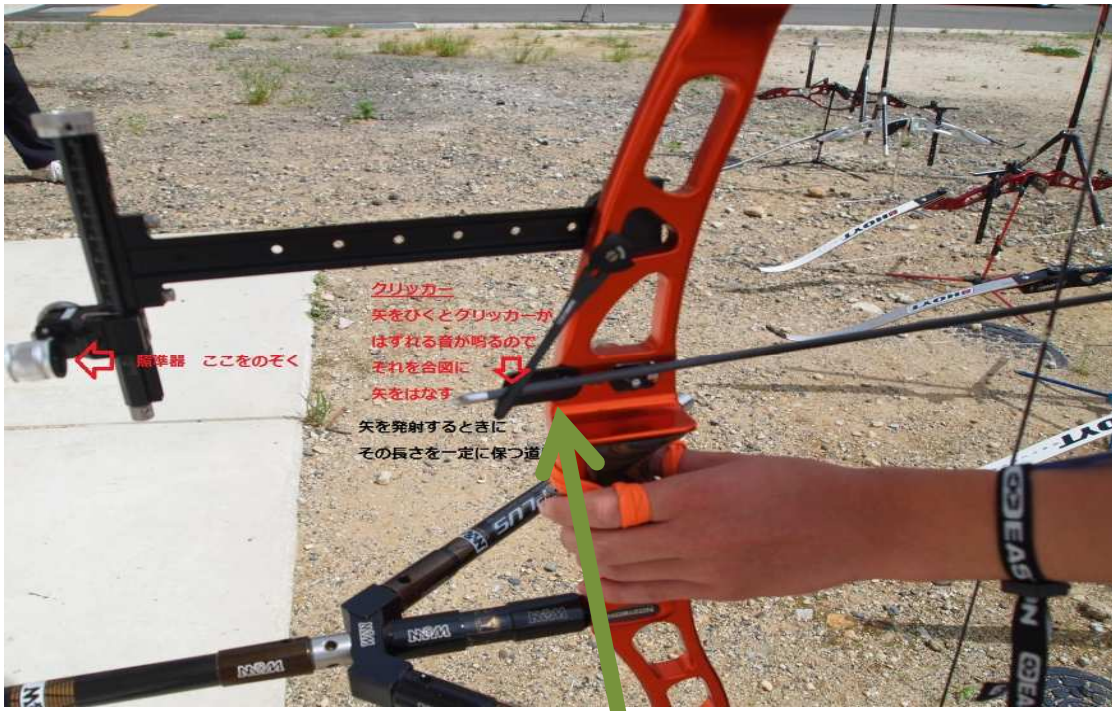
ケガをしないよう  
に特殊な装備を  
しています。

チェストプレートや  
アームガードを装着する。

弦の強さを変えること  
によって矢の軌道を調整  
することができます。

弦が強い方が真っすぐ  
になり、風の抵抗を受け  
にくいです。当然 弦を  
引くにはかなりの筋力  
が必要です!



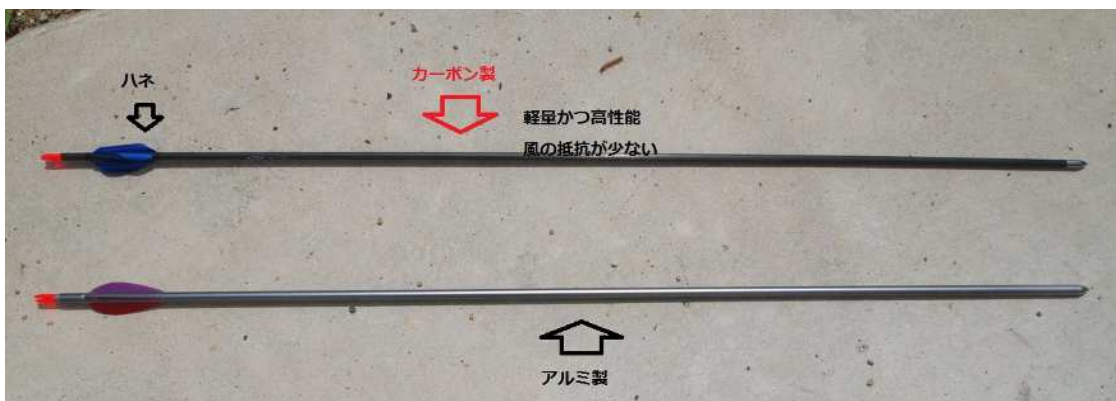


矢の引くと”クリッカー”が外れる音”カチッ!”の合図で矢をはなすんですって。

ちなみに矢の長さは手の長さとはほぼ同じ。選手一人一人違うそうです。(消耗品ですよ。)



矢の種類はカーボン製・アルミ製があり カーボン製の方が軽量かつ風の抵抗など影響が少ないとの事。なのでほとんどカーボン製を使用しているそうです。





この照準器で的の黄色10点を狙います！

1試合72射なので満点だと720点になります！



試合では”線（シューティングライン）”をまたいだ状態ではじまります。



そして的の上の黄色い旗で風をよんで 矢を放つのです！70mもあり風の影響がかなりあるようです。



ときどき矢のお手入れも必要です。



1年生は2学期くらいまではゴムを引いて練習するそうです。射型（しゃけい）＝基本姿勢を身につけるのが大事との事。



高得点を出すには 射型を崩さない、風の抵抗を受けないための矢の強さ（矢を引く筋力）、72射安定して打ち切る力、風を読む力が必要だということでした。

この取材をしたときは県総体前で練習も本番と同じように行われていました。



↓大会のようすです。





未経験者がやってみると  
ほとんど弦がひけないようです。

今回取材にご協力いただいた松江東高校と出雲工業高校のみなさんです。  
ありがとうございました。

